

地区ラーニングファシリテーター挨拶

地区ラーニングファシリテーター 五十幡 和彦
(行田さくらRC)



地区はクラブのために

研修からラーニングへ

2023年7月より、国際ロータリーの研修モデルは「研修 (Training)」から「学習 (Learning)」へと移行し、それに伴い「クラブ研修リーダー」は「クラブ・ラーニングファシリテーター」へと名称が変更されました。このモデルの目的は、会員がロータリーについて主体的に学び、自発的に理解を深められるよう、対話や議論を促進することにあります。研修において一方的な講義を行うのではなく、参加者同士の意見交換や新たな気づきを得る場（ラーニング・セッション）をファシリテートすることにより、主体的に知識やスキルを身につけ、個々の成長を促します。それが結果としてクラブの活性化とリーダー育成につながっていきます。

地区委員会の活動のすべては、クラブのため、ロータリー会員のために

地区の役割は、クラブが活性化するようサポートすることです。会員増強委員会はクラブの会員増強を、公共イメージ委員会はクラブの公共イメージ向上を、社会奉仕委員会・国際奉仕委員会はクラブの社会奉仕・国際奉仕を支援することでクラブが活性化することが、地区委員会の一番の役割です。また青少年プログラム委員会、ロータリー財団委員会、ロータリー米山記念奨学委員会には、RIや日本のロータリーのプログラムを地区で推進する役割がありますが、同時に、クラブの青少年奉仕活動の支援や地区補助金の活用などを通じて、クラブの奉仕事業をサポートすることが大切です。

3大研修においても、その目的はロータリー憲章に「クラブを支援するようチームの意欲を高める機会を提供する」「次期クラブ会長の意欲を高め、協力関係を築く機会を提供する」「クラブ・リーダーシップチームの意欲を喚起し、協力関係を築く機会を提供する」と定められています。

オンラインカRI会長スピーチ「ロータリーが私たちが形づくり、より良い人間にしてくれた」

2026-27年度RI会長オンラインカ・ハキーム・ババラ氏は、国際協議会の中で次のように述べました。「私たちの共通点は、ロータリーが私たちを変えたということです。私たちという人間を形づくり、より良い人間にしてくれたのです。」さらに、「ロータリーがどのように私たちのキャリアを変えているのか、ビジネスを変えているのか、家族を変えているのか」とも語っています。これはまさに「我磨く 事業も磨くロータリー」「入って良かったロータリー」です。ロータリーに入って良かったという思いと体験が、退会防止や会員増強につながり、ロータリーを発展させる最大の原動力になります。

地区ラーニング委員会 事業計画

1. 次期ガバナー補佐・地区委員長ラーニング
2. 3大セミナーの計画と実施
 - ・地区チーム・ラーニングセミナー
 - ・PELS (会長エレクト・ラーニングセミナー)
 - ・クラブリーダーシップ・ラーニングセミナー
3. 新会員セミナーの計画と実施